

2010年10月5日(火)

第50号

SKIP通信

Seikyo-Kanren · Ippan-roudoukumiai

発行:生協関連・一般労組
岡山市幸運町2丁目19-14

(086)-214-1420

(086)-255-7122(FAX)

発行責任者:岡山支店上 修一

生協労組おかやま
岡山市藤田564-178

(086)-296-5174

(086)-296-6734(FAX)



9月18・19・20日の3連休明けに毎月行っている宣伝行動をハローワーク前で行いました。雇用保険の認定日と重なつたらしく、道路は、車の渋滞で大変混雑していました。今回も一時間の宣伝でしたが、パンフレットは、125人

ハローワーク前で行いました。

雇用保険の認定日と重なつたらしく、道路は、車の渋滞で大変混雑していました。今回も一時間の宣伝でしたが、パンフレットは、125人

に手渡すことができました。最近はパンフレットを頼って事務所に相談に訪れ、労働組合に加入するなかまが増えています。

今一番何とかしたいことを聞き、シエルターへ入つてもうつたり、生活保護の申請を手伝つたり、多重債務等の場合には、弁護士に相談したりと、問題解決におけるお手伝いをしています。みなさうじ自身や知り合いの人で困つてつたり声をかけてください。

「あらわゆる」と「隠れ

生協労連の第43回定期大会が開催され、委託で働く仲間の代表として、流通サービス分会委員長の長尾さんが発言しました。

『リーダーが超過密労働の中で倒れ、他人ことではない。このままではいけないと労組活動に真剣に取り組むようになりました。そして、会社と団体交渉をおこない、会社に長時間労働の改善を約束させました。自分たち委託の

問題は生協が変わらないと解決できない問題がたくさんあります。先日も同年代の生協の正規職員と交流を持ち、情報交換しながら、お互いの仕事を理解し、ともにがんばろうと約束しました。これからも決して諦めることなく頑張りたい』とたいへん力強いもので、全国のなかまから大きな反響が寄せられました。



トという非正規労働者が増え続け、働き方の多様性と耳ざわりのいい言葉でごまかされず、どこで働いていても、正規と同じ労働・同じ賃金、仕事は正規が当たり前。の社会にすることが必要です。

